

『聴く』とは

① **事実**をきく。(体験・経験)

② **気持ち**をきく。(その事実に出会ったとき、その人がどんな気持ちでいたのか。)

||
悲しみ・苦しみ

できるだけ正しく受け止める。

・その人のことをわかろうとするのは大変。

ではどうするか。

心を受け止める。心を感じる。

1を聴いて、その聴いた1を確認する。＝聴いたことの内容を言う。

例 「今の事を聞いて、
……に感じたけれど
……ことなの。」

・自分の心を伝える一番のものは言葉

・自分の心を分かってもらおうとする言葉はその人の心そのもの、その人の命そのもの

だから、一言を大切に受け止める＝わかろうとする姿勢が大切

・自分のことを受け止めてもらえると感じると、もっと言葉として出てくる。

違っていても修正して返ってくる。

③ **考え**をきく。

・生きる＝行動＝考えに基づいている。

・子どもの考えが親の経験・親の考え方から受け入れがたいと思っても「そういうふうに見えるあなたを受け止めるよ。」と伝えてから、親の考えを伝える。

*その人の考えは、聴いてみないとわからない。

*座談会の内容を要約し、町田先生にアドバイスをいただいて作成いたしました。本文につきまして、コピーなどでご活用される場合は、世話人までご連絡ください。

